



平成 19 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 SANKYO  
代表者名 代表取締役 毒島 秀行  
社 長  
(コード番号 6417 東証第 1 部)  
問合せ先 常務取締役 筒井 公久  
経営企画部長  
(TEL. 03-5778-7773)

### 平成 19 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 9 日の中間決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	225,000	77,000	47,000
今 回 修 正 予 想 (B)	200,000	58,000	35,000
増 減 額 (B-A)	△25,000	△19,000	△12,000
増 減 率 (%)	△11.1%	△24.7%	△25.5%
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 18 年 3 月期)	214,500	75,559	45,443

#### 2. 単独業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	210,000	72,000	44,000
今 回 修 正 予 想 (B)	170,000	54,000	33,000
増 減 額 (B-A)	△40,000	△18,000	△11,000
増 減 率 (%)	△19.1%	△25.0%	△25.0%
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 18 年 3 月期)	196,666	68,741	42,561

### 3. 修正の理由

当中間期における連結および単独の業績は、売上高ならびに利益とも概ね予想通り順調に推移いたしました。しかしながら第3四半期以降、主力事業であるパチンコ機ならびにパチスロ機の販売が伸び悩み、中間決算発表時に公表した予想値の達成が困難と判断いたしました。

パチンコ機関連事業におきましては、第4四半期に投入したビスティブランド「新世紀エヴァンゲリオン」シリーズ第3弾「奇跡の価値は」(平成19年1月)が市場から大きな注目を浴び、前作の販売台数161千台強を更新する勢いで受注を積み重ねております。反面、注目を集めるまでには至らなかった機種については、競合激化も伴い、厳しい販売結果となっております。

パチスロ機関連事業におきましては、第4四半期以降新基準機の需要が拡大すると予想し、販売計画を立てておりましたが、現状緩やかなものに留まっております。そのため、翌第1四半期以降を商機と考え、当期の販売予定機種を絞り込む計画に変更いたしました。

以上により、通期の業績予想を修正いたします。

なお、期末配当につきましては、当初予想どおり1株当たり50円を予定しております。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
当期実績	50.00	50.00	100.00
前期実績(平成18年3月期)	35.00	65.00	100.00

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上